

## プラスチック分野における粘度計測と粘度データの利用技術 ～ キャピラリーレオメータの解説と実演 ～

プラスチック加工において樹脂の粘度特性は加工性を左右する非常に重要な物性値です。プラスチック分野における粘度特性と粘度計測法についての解説を行ない、粘度データ利用技術について理解を深めていただきます。そして、平成 21 年度に更新導入しましたキャピラリーレオメータ（キャピラリー式粘度計）の操作説明と測定実演を行ないます。

キャピラリーレオメータは各種プラスチック材料の流動性評価を行なう装置で、JIS K7199 に準拠した『キャピラリーレオメータによるプラスチックの流れ特性試験』、および、JIS K7210 に相当する『熱可塑性プラスチックのメルトマスフローレイト（MFR）およびメルトボリュームフローレイト（MVR）』の試験が可能です。この装置により、広範囲の流速におけるプラスチック材料の粘度測定が可能です。そのデータは、押出成形や射出成形などにおける温度・流速に対応しており、成形条件の検討や成形シミュレーションに利用することができます。さらに、粘度測定の精度を高めるための、管長補正（パーグレイ補正）とラビノヴィッチ補正を容易にするためのデータ処理ソフトウェアを備えております。また、伸長粘度の計測にも対応しています。

なお、装置／実演等に関するご質問は、下記講習担当者までお問い合わせください。

**日 時：**平成 22 年 12 月 10 日（金） 13：45～17：00

**場 所：**大阪府立産業技術総合研究所 本館 2 階 研修室 5

和泉市あゆみ野 2-7-1 TEL:0725-51-2518

※ 当日の受付は、講習会開始時刻の 30 分前から講習会会場前で行います。

**主 催：**大阪府立産業技術総合研究所

**定 員：**15 名

※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。

**費 用：**無料

**申込み先：**大阪府立産業技術総合研究所 業務推進部 技術普及課

※ お申し込みはメール ([fukyu@tri.pref.osaka.jp](mailto:fukyu@tri.pref.osaka.jp)) または FAX (0725-51-2520) でお願ひします。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

**内 容：**

・講義「プラスチック分野における粘度計測と粘度データ利用技術」 13：45～15：15

プラスチック材料やプラスチック加工と粘度の関係から解説し、プラスチック分野に関連する粘度特性と粘度計測および粘度データ利用技術について理解を深めていただきます。

・実演「キャピラリー式粘度計の操作説明と粘度測定」 15：30～17：00

キャピラリーレオメータ [キャピログラフ 1D 型 (株) 東洋精機製作所製] の操作説明とメルトマスフローレイト (MFR) およびキャピラリー粘度計測の実演を行います。

なお、本装置は開放設備・機器 [キャピラリーレオメータ (¥2,200/時間)] としてご利用いただいています。

**講 師：**大阪府立産業技術総合研究所 (TEL:0725-51-2518)

機械金属部 加工成形系 主任研究員 吉川 忠作  
主任研究員 奥村 俊彦

